

白石警察署協議会開催結果の概要

令和5年11月16日

会 議	令和5年度 第2回白石警察署協議会
開催日時	令和5年10月27日（金） 15：00～17：00
開催場所	白石警察署訓授室
出席者	◎公安委員会：岸川委員 (1人) ◎協議会：友納会長 久原副会長 久原美委員 早田委員 (4人) ◎警察署：木下署長 副島警務課長 三好生活安全・刑事課長 伊藤地域課長 堤交通課長 前田警備課長 高柳会計課長 警務係長 (8人) 計13人
議 事 概 要	
<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶 各委員及び白石警察署の皆様方には、公私とも大変お忙しい中、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 また、本日は岸川公安委員にも、御多忙のところ、当協議会に御陪席いただき感謝申し上げます。 佐賀県内の事件・事故の発生状況を見ますと、交通死亡事故は減少しているものの、人身交通事故は増加しており、子供や女性を対象とする犯罪、男女間のトラブル、ニセ電話詐欺等が相次いで発生しており、極めて厳しい情勢にあります。 白石警察署管内では、地域住民に対するニセ電話詐欺のアポ電が増加しており、3名の方がニセ電話詐欺の被害にあっておられることから、本日は「ニセ電話詐欺の被害防止対策」について、警察署長の諮問を受けることになっています。 地域の安全と安心は、地域と警察が連携をとってこそ、確保できるものと考えておりますので、本日は、皆様方の忌憚のない御意見を賜りたいと考えております。</p> <p>3 署長挨拶 警察署協議会の皆様には、公私とも大変お忙しい中、御出席をいただき、誠にありがとうございます。 また、本日は岸川公安委員にも、御多忙のところ、当協議会に御陪席いただき感謝申し上げます。 さて、県内の治安情勢を見ますと、刑法犯の認知件数は増加傾向で推移しており、特にニセ電話詐欺事件が認知件数、被害額ともに増加しています。 当署管内においても、アポ電が激増する中で、被害総額約2,800万円のニセ電話詐欺3件を認知しており、予断を許さない状況にあります。 また、県内の交通事故の発生状況については、人身交通事故の発生件数は増加傾向にありますが、交通死亡事故については減少傾向にあります。 当署管内においては、地域と連携した交通安全対策を推進中のところ、人身交通事故が減少しており、特に交通死亡事故については、一昨年3月から約2年半、発生しておりません。 しかし、県内同様、管内でも怪我のない物損交通事故は急増しており、いつ重大な</p>	

交通事故が発生してもおかしくない状況にあります。

更には、全国的に激甚化が懸念されている大雨等による自然災害についても、本年7月には、唐津地区で大雨による大規模な土砂崩れにより住民の尊い命が犠牲になるなど、幸い当署管内での大きな被害はなかったものの、令和元年・3年の大災害を経験している杵島地区3町としては、常に防災への備えをしておく必要があります。

このような治安情勢に鑑み、今回の協議会では被害が拡大している「ニセ電話詐欺の被害防止対策」について委員の皆様にご意見を伺わせて頂くこととなった次第です。

当署では、日々発生する事件・事故に対処し、地域の安全安心と平穏を地域の皆様が肌で感じる体感治安の向上に努めていますが、この目的を達成するには、地域の代表であります委員の皆様及び地域社会の力添えが是非とも必要でありますので、忌憚のない御意見や御要望をお聞かせ頂きますようお願い致します。

4 業務概況報告

- (1) 警務課長 ～ 各種広報活動状況等
- (2) 生活安全・刑事課長 ～ 刑法犯・窃盗犯認知状況、犯罪検挙状況、犯罪抑止活動状況、男女間トラブル等の認知状況等
- (3) 地域課長 ～ 各種訓練状況、110番受理状況等
- (4) 交通課長 ～ 交通事故発生状況、交通事故の特徴等
- (5) 警備課長 ～ 災害対策、要人警護等

5 諮問

(1) 白石警察署長が、
ニセ電話詐欺被害防止対策
について諮問書を読み上げ、協議会会長に手交した。

(2) 生活安全・刑事課長が、
管内のニセ電話詐欺の発生状況と被害防止対策
等を説明した。

(3) 委員による協議

委員：ニセ電話詐欺は、以前は高齢者が被害に遭っていたが、最近では高齢者に限らず被害に遭っているように感じる。

スマホ社会になったことで手口が多様化し、SNS等を利用して巧妙な手口で仕掛けられ、その時は気付かずに後になって気付くことが多い。

被害防止のために、コンビニ等の協力を得ることも効果があると思うが、携帯電話ショップ等において手続をする際にチラシを配付するなど、啓発を依頼することも必要ではないか。

警察：警察では、「防災ネットあんあん」のアプリ等の推奨を行っており、ニセ電話等の被害があれば、発生情報等を発信していますが、携帯ショップに対する注意喚起の依頼については、有効手段だと思うので、今後、参考にさせていただく。

委員：私は孫の送迎をすることもある。そのような機会に祖父母、両親から子供に、ニセ電話詐欺の手口、SNS等の危険性を教えることも大事ではないか。

委員：警察などが行っている啓発活動は、上から下に下ろしているという印象があり、横のコミュニケーションがとれていないように感じる。

近所の井戸端会議のような場では、横の広がりができると思うので、商工会の青年部や女性部等に詐欺の手口などの情報をいただければ、お店の方からお客さんにスピード感を持って発信できると思うし、これらの団体が発行する会報等を利用するのも効果的ではないかと思う。

委員 : 地区の会合で、「防災ネットあんあん」アプリの紹介があり、私の母もアプリを入れていただき、私も利用している。

アプリでは、猪の出没情報や詐欺の発生状況や手口等の防犯情報等が適宜発信されており、非常に有効だと思う。

最近では、高齢者のスマホ所持率も高くなっているし、子供達も大半が持っていると思うので、高齢者以外の方にも普及率を高め、皆で活用することが必要だと思う。

警察 : ニセ電話詐欺対策ですが、新たな手口が増加してイタチごっこになっているのが現状である。

今日、紹介した以外にも、警察ではいろいろな対策をとっているが、まずは固定電話を介する被害を防止し、次に携帯電話対策にシフトしていこうと考えている。

「防災ネットあんあん」普及については、被害防止対策等の広報啓発活動だけではなく、あらゆる機会を捉えて高齢者のスマホ等にアプリを入れる活動も実施していく。

商工会等への働きかけについては、商工会やお店に限らずに、人が集まるコミュニケーションの場が大事だと思うので、今後もいろいろな機会を捉えて実施していきたい。

6 意見交換・質疑等

委員 : 生活する上で、身近な問題はニセ電話詐欺被害防止と交通事故防止になると思う。

これらを減少させることで住みやすい町になると思うので、更なる対策強化をお願いしたい。

委員 : 物損事故の件数が増加しているという説明であったが、どのような形態の事故が多いのか。

警察 : 物損事故の形態としては、コンビニ等の駐車場で接触事故が多くなっている。

交通量が増えれば事故も増えるので、今後は人身事故や物損事故も含めた交通事故の総量抑止対策が重要になってくる。

委員 : 4月には免許を取得する方も多いと思うが、初心者マークの方の事故も増えるのか。

警察 : 初心者事故が多いということはない。

交通事故当事者の全体の数から言えば、事故当事者の初心者の割合は少ない。

委員 : 詐欺や交通事故防止の講話について、どんなに少ない人数でも講話に来てもらえるのか。

警察 : 要請があれば警察官が出向いて各種講話を実施している。

ただ、要請が重複した場合には、日程調整が必要になる。

7 公安委員総括

本日は、白石警察署協議会に出席させていただき、御礼を申し上げます。

白石警察署管内は、県全体から見て安心して生活ができる地域であることが各課長による業務推進状況を聞いて分かった。

日頃からいろいろな活動をされていることが分かるとともに、治安を維持するには不絶の努力が必要であると感じた。

本日はタイムリーな諮問として「ニセ電話詐欺対策」がなされていたが、時代は短いスパンでどんどん流れ、いろいろなことが変わっていく変化の時代であり、犯罪も

日進月歩しているので、それに対応する警察の責任も重大であるし、委員の皆様が地域の問題を協議する場というのも非常に大切であると思った。

本日、協議会に出席し

広報の大切さ

備えあれば憂いなし

の2点が大切であると思った。

この2つをしっかりと意識を向上させていくことが大事であり、これから具体的な方策を協議会の場で協議していただくとともに、少ない意見にも耳を傾け、業務に反映させていただきたいと思う。

また、この地域独特なものとして水害がある。

地球温暖化に伴い自然災害も甚大化していくと思われるので、日頃から事前に備えをしておくことが大事だと思う。

安全安心な地域ではあるが、それを維持していく努力は大変だと思うので、よろしく願います。

8 その他

次回は、令和6年2月に開催予定

9 閉会

10 視察等

協議会終了後、道場において警察本部交通企画課が運用するVR歩行環境シミュレータの視察を行い、同機器を利用して事故を疑似体験した。